

平成28年2月

山本宗平 学位論文審査要旨

主 査 林 一 彦
副主査 竹 内 裕 美
同 磯 本 一

主論文

Frequent aberrant p53 and Fhit expression in endoscopically resected superficial hypopharyngeal cancer and its double esophageal cancer; evidence for field cancerization

(内視鏡的切除した表在下咽頭癌とその重複食道癌の異常p53およびFhitの頻発発現；
フィールド・キャンサライゼーションの証拠)

(著者：山本宗平、八島一夫、川田壮一郎、細田康平、田本明弘、池淵雄一郎、松本和也、
河口剛一郎、原田賢一、村脇義和、磯本一)

平成28年 Oncology Letters 掲載予定

参考論文

1. AID, p53 and MLH1 expression in early gastric neoplasms and the correlation with the background mucosa

(早期胃腫瘍におけるAID、p53およびMLH1蛋白発現と背景粘膜との関連)

(著者：川田壮一郎、八島一夫、山本宗平、佐々木修治、武田洋平、林暁洋、松本和也、
河口剛一郎、原田賢一、村脇義和)

平成27年 Oncology Letters 10巻 737頁～743頁

審 査 結 果 の 要 旨

本研究は内視鏡的に切除された表在下咽頭癌とその重複食道癌を用いて、免疫化学染色を行い、頭頸部食道領域の分子レベルのfield cancerization仮説を検証したものである。その結果、下咽頭癌および重複食道癌でp53とFhit発現は異常頻度が高く、この結果はfield cancerizationの観点から喫煙や飲酒など共通の発癌物質の暴露によるものと考えられた。

本論文の内容は、内視鏡的切除した咽頭癌と重複食道癌という早期病変で癌関連蛋白の発現異常を検証し、p53とFhit発現が早期下咽頭扁平上皮癌患者において重複食道扁平上皮癌を予期するバイオマーカーとなる可能性があることを示唆し、明らかに学術水準を高めたものと認める。